

証券コード4651

SANIX




2012年3月期 決算説明会

株式
会社 **サニックス**

2012年 5 月 14 日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。



目次

1. 2012年3月期 決算概況 P. 1

2. 2013年3月期 業績見通し P. 10

免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

2012年3月期 決算概況



2012年3月期 決算概況

前期比増収となったものの、最終利益は減益

売上高	：	31,454百万円	（前期比増減額	+2,474百万円）
営業利益	：	409百万円	（前期比増減額	△91百万円）
経常利益	：	347百万円	（前期比増減額	△82百万円）
当期純利益	：	13百万円	（前期比増減額	△35百万円）

◆売上高◆

HS事業部門において、太陽光発電システム販売に注力した結果前期比増収となったほか、環境資源開発事業部門においては、廃プラ加工処理収入、売電収入、及び有機廃液処理収入が軒並み堅調に推移し、前期比増収となった。

また、ES事業部門においては、太陽光発電システム販売は前期比増収となったものの、既存商品販売が伸び悩み、部門全体では前期比減収。結果、グループ全体の売上高は、前期比8.5%増となった。

◆利益面◆

環境資源開発事業部門において、売上高の前期比増収効果に加え、コスト削減に注力したことによって大幅な増益となり、通期で黒字に転換。

HS・ES両事業部門においては、原価率の高い太陽光発電システム販売の販売比率が上昇したため、前期比減益となり、グループ全体の営業利益は、前期比減益の409百万円となった。

2012年3月期 損益の実績

	2011/3期	2012/3期			計画値	計画比	計画差異
	実績値	実績値	売上比	前期比			
売上高	28,979	31,454	100.0%	108.5%	33,300	94.5%	△ 1,845
HS部門	16,656	16,806	53.4%	100.9%	18,450	91.1%	△ 1,643
ES部門	2,811	2,757	8.8%	98.1%	2,910	94.7%	△ 152
環境資源	9,511	11,890	37.8%	125.0%	11,940	99.6%	△ 49
売上原価	18,703	21,012	66.8%	112.3%	22,050	95.3%	△ 1,037
売上総利益	10,275	10,441	33.2%	101.6%	11,250	92.8%	△ 808
販管費	9,773	10,032	31.9%	102.6%	10,180	98.5%	△ 147
営業利益	501	409	1.3%	81.7%	1,070	38.3%	△ 660
経常利益	430	347	1.1%	80.9%	1,010	34.5%	△ 662
当期純利益	49	13	0.0%	28.2%	550	2.5%	△ 536

■HS・ES両事業部門の太陽光発電システム販売について、前期比では堅調に推移したものの、営業生産性が計画水準に至らず、計画比減収となった。

また、環境資源開発事業部門においては、廃プラ加工処理収入は計画比で堅調に推移したものの、苫小牧発電所において、売電収入が計画を下回ったため、部門全体では計画比減収となった。利益面では引き続き合理化を推進するも、計画比減収の影響により、計画比減益となった。

2012年3月期 損益の実績

(単位:百万円)		2012/3期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額
売上高	7,505	230	7,947	612	7,943	578	8,058	1,052	
H S 部門	4,463	59	4,405	127	3,809	△ 284	4,129	247	
E S 部門	677	27	663	△ 8	706	32	709	△ 105	
環境資源	2,364	143	2,878	494	3,427	830	3,219	910	
売上原価	5,209	1,051	4,851	498	5,295	348	5,656	409	
売上総利益	2,296	△ 821	3,096	114	2,647	229	2,402	643	
販管費	2,613	108	2,511	50	2,442	30	2,463	69	
営業利益	△ 317	△ 929	584	63	204	199	△ 61	574	
経常利益	△ 325	△ 919	562	66	190	200	△ 79	570	
当期純利益	△ 439	△ 879	439	73	48	161	△ 34	608	

2012年3月期 セグメント別損益の実績

(単位:百万円)		2011/3期	2012/3期					
		実績値	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
HS 部門	売上高	16,656	16,806	100.0%	100.9%	18,450	91.1%	△ 1,643
	売上総利益	7,964	7,568	45.0%	95.0%	8,155	92.8%	△ 586
	販管費	5,356	5,352	31.8%	99.9%	5,495	97.4%	△ 142
	営業利益	2,607	2,216	13.2%	85.0%	2,660	83.3%	△ 443
ES 部門	売上高	2,811	2,757	100.0%	98.1%	2,910	94.7%	△ 152
	売上総利益	974	898	32.6%	92.3%	950	94.6%	△ 51
	販管費	820	857	31.1%	104.6%	860	99.8%	△ 2
	営業利益	153	40	1.5%	26.7%	90	45.5%	△ 49
環境 資源	売上高	9,511	11,890	100.0%	125.0%	11,940	99.6%	△ 49
	売上総利益	1,337	1,974	16.6%	147.6%	2,145	92.0%	△ 170
	販管費	1,553	1,686	14.2%	108.6%	1,660	101.6%	26
	営業利益	△ 215	287	2.4%	—	485	59.3%	△ 197
配賦 不能	営業利益	△ 2,043	△ 2,135	—	—	△ 2,165	—	29

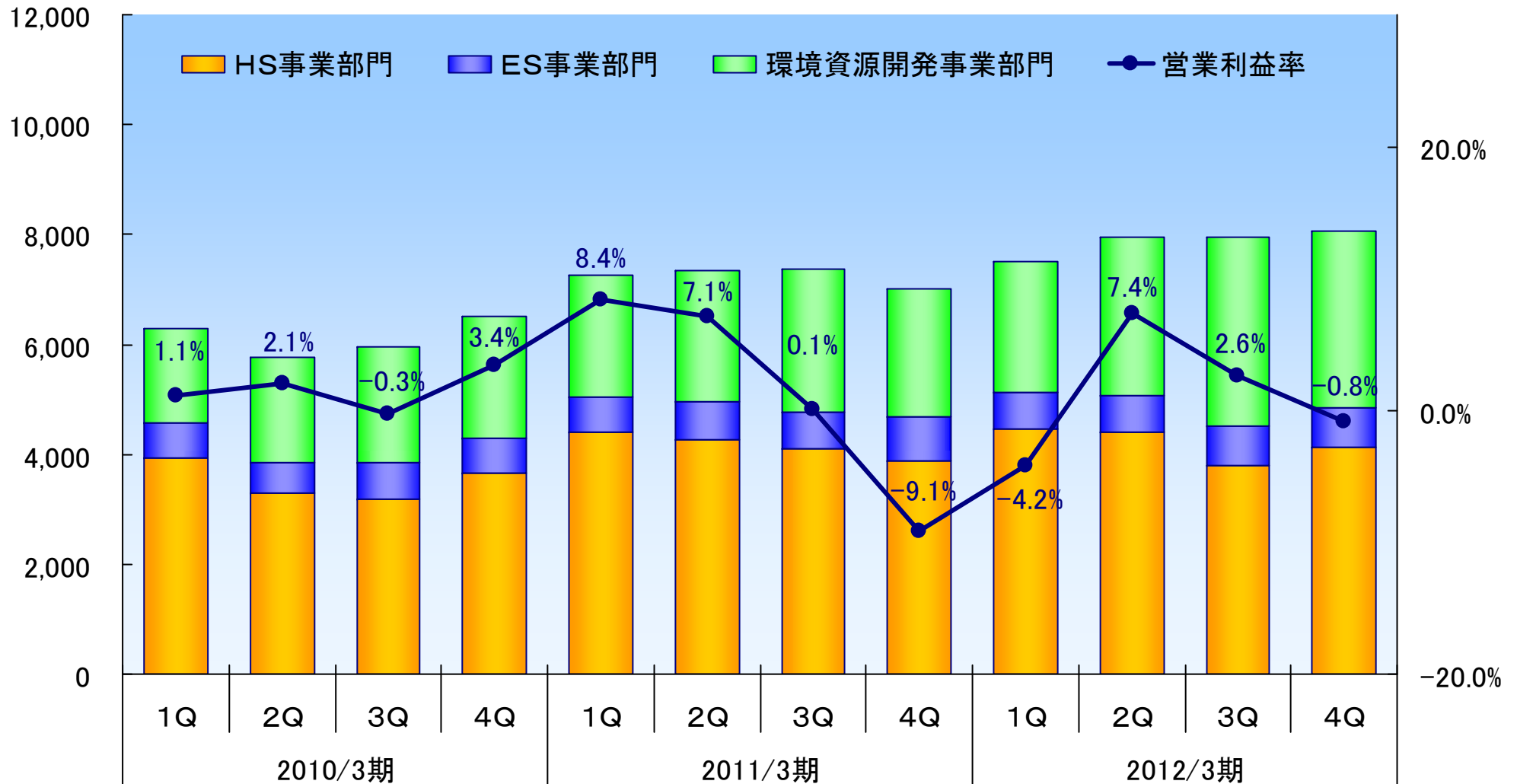
2012年3月期 セグメント別損益の実績

(単位:百万円)		2012/3期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額
HS 部門	売上高	4,463	59	4,405	127	3,809	△ 284	4,129	247
	売上総利益	2,185	△ 488	2,291	△ 43	1,572	△ 150	1,519	286
	販管費	1,417	29	1,420	59	1,303	△ 4	1,211	△ 88
	営業利益	768	△ 517	871	△ 103	268	△ 145	308	375
ES 部門	売上高	677	27	663	△ 8	706	32	709	△ 105
	売上総利益	214	△ 23	212	△ 49	224	△ 19	247	16
	販管費	226	44	212	12	212	△ 1	205	△ 17
	営業利益	△ 11	△ 67	△ 0	△ 61	11	△ 17	41	34
環境 資源	売上高	2,364	143	2,878	494	3,427	830	3,219	910
	売上総利益	△ 104	△ 309	592	207	851	399	635	339
	販管費	387	3	371	△ 24	418	20	509	133
	営業利益	△ 491	△ 312	221	231	432	378	125	206
配賦 不能	営業利益	△ 582	△ 31	△ 508	△ 2	△ 508	△ 16	△ 537	△ 41

2012年3月期 セグメント別四半期推移

■セグメント別 売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2012年3月期 HS事業部門

■太陽光発電システムは前期比では堅調に推移するも、計画比減収

太陽光発電システム販売については、前期比では堅調に推移しており、22.4%増の6,442百万円となった。なお、主に「ユーザー向け直販」において、地区単位での営業体制シフトは計画どおり完了し、仕入コスト低減による利益率改善もあり、販売価格の見直しを実施。2月～3月において積極的な販売を展開し、一定の成果は得られたものの、計画水準には至らなかった。

	2011/3期	2012/3期				
	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
(単位:百万円)						
売上高合計	16,656	16,806	100.9%	18,450	91.1%	△ 1,643
シロアリ防除施工	4,095	3,498	85.4%	3,436	101.8%	62
床下・天井裏換気システム	2,568	2,092	81.5%	2,140	97.8%	△ 47
基礎補修・補強工事	1,759	1,277	72.6%	1,262	101.2%	15
家屋補強システム	350	337	96.2%	348	96.9%	△ 10
太陽光発電システム	5,261	6,442	122.4%	8,056	80.0%	△ 1,613
その他	2,620	3,158	120.5%	3,208	98.5%	△ 49
営業利益	2,607	2,216	85.0%	2,660	83.3%	△ 443

2012年3月期 ES事業部門

■ 新規提携先の獲得が想定を下回り、計画未達

賃貸・分譲物件管理会社向け法人営業において、既存提携先との関係深耕については概ね順調に推移し、既存商品販売は計画水準で推移。

集合住宅向け太陽光発電システム販売については、前期比では堅調に推移するも、新規提携先の獲得が想定を下回ったことにより、新規対象商品である当該商品販売が計画比減収となった。

なお、売上高の計画比減収に伴い、営業利益は計画比49百万円の減益となった。

	2011/3期		2012/3期		
	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
(単位:百万円)					
売上高合計	2,811	98.1%	2,910	94.7%	△ 152
防錆機器取付施工	680	69.6%	486	97.5%	△ 12
建物給排水補修施工	770	111.1%	862	99.3%	△ 6
建物防水塗装補修施工	427	89.9%	359	107.0%	25
太陽光発電システム	297	135.5%	545	74.1%	△ 141
その他	635	100.7%	658	97.3%	△ 18
営業利益	153	26.7%	90	45.5%	△ 49

2012年3月期 環境資源開発事業部門

■前期比増収増益となり、通期で黒字に転換

廃プラスチック加工処理収入が堅調に推移し計画比増収となったものの、売電収入において、北海道・本州間連系設備の海底ケーブル復旧が想定より遅れ、販売電力量及び売電単価が想定を下回ったため、計画比減収となった。

利益面では、全体的にはコスト削減が図れており、収益性改善の傾向は見られるものの、原油価格高騰による消耗品費等想定外の原価コスト増加が生じたほか、売電収入計画未達による減収影響等により、計画には及ばなかった。

	2011/3期		2012/3期		
	実績値	前期比	実績値	前期比	計画差異
(単位:百万円)					
売上高合計	9,511	125.0%	11,890	125.0%	△ 49
廃プラスチック処理	5,023	132.8%	6,673	132.8%	68
有機廃液処理	1,444	110.5%	1,595	110.5%	△ 8
売電収入	1,427	161.3%	2,303	161.3%	△ 116
埋立処分等収入	939	75.2%	706	75.2%	△ 9
その他	676	90.3%	611	90.3%	16
営業利益	△ 215	—	287	—	△ 197

SANIX



**2013年3月期
業績見通し**



2013年3月期 業績見通し

通期連結業績見通し

売上高	：	38,000百万円	（前期：	31,454百万円）
営業利益	：	2,000百万円	（前期：	409百万円）
経常利益	：	1,970百万円	（前期：	347百万円）
当期純利益	：	1,820百万円	（前期：	13百万円）

HS事業部門

前々期及び前期においては、上半期は既存商品販売、下半期は太陽光発電システム販売を推進したが、今期は太陽光発電システム販売を通期で積極的に販売し、前期比大幅な増収を見込む。

ES事業部門

引き続き、賃貸物件管理会社及び分譲物件管理会社への法人営業を推進し、集合住宅向け太陽光発電システム販売を推進する。

環境資源開発事業部門

北海道・本州連系設備の海底ケーブルについては4月上旬に完全復旧。

廃プラスチック加工処理収入について引き続き堅調な推移を見込むほか、苫小牧発電所においては燃料品質向上の効果による安定的連続運転及びオペレーションによるコストの削減により、更なる収益改善を見込む。

2013年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円)	2013/3期							
	第2四半期累計				通期			
	計画値	売上比	前期比	前期比増減額	計画値	売上比	前期比	前期比増減額
売上高	18,940	100.0%	122.6%	3,487	38,000	100.0%	120.8%	6,545
HS部門	10,590	55.9%	119.4%	1,721	21,375	56.3%	127.2%	4,568
ES部門	1,480	7.8%	110.4%	138	2,955	7.7%	107.2%	197
環境資源	6,870	36.3%	131.0%	1,626	13,670	36.0%	115.0%	1,779
売上原価	12,691	67.0%	126.1%	2,630	25,035	65.9%	119.1%	4,022
売上総利益	6,249	33.0%	115.9%	856	12,965	34.1%	124.2%	2,523
販管費	5,614	29.6%	109.5%	488	10,965	28.9%	109.3%	932
営業利益	635	3.4%	238.1%	368	2,000	5.3%	488.0%	1,590
経常利益	615	3.2%	259.3%	377	1,970	5.2%	566.1%	1,622
当期純利益	540	2.9%	—	540	1,820	4.8%	—	1,806

■HS・ES両事業部門において、既存商品に比べて原価率の高い太陽光発電システムの販売比率上昇により、売上原価が増加するものの、仕入コスト低減により、当該商品の利益率は前期比では改善される見通し。苦小牧発電所においては、3Qまでに段階的に定期修繕を実施し、安定的連続運転を図る。その結果、グループ全体の通期計画において、前期比増収増益を見込む。

2013年3月期 セグメント別損益の見通し

(単位:百万円)		2013/3期							
		第2四半期累計期間				通期			
		計画値	売上比	前期比	前期比 増減	計画値	売上比	前期比	前期比 増減
HS 部門	売上高	10,590	100.0%	119.4%	1,721	21,375	100.0%	127.2%	4,568
	売上総利益	4,130	39.0%	92.2%	△ 347	8,430	39.4%	111.4%	861
	販管費	2,819	26.6%	99.3%	△ 18	5,707	26.7%	106.6%	354
	営業利益	1,311	12.4%	80.0%	△ 328	2,723	12.7%	122.8%	506
ES 部門	売上高	1,480	100.0%	110.4%	138	2,955	100.0%	107.2%	197
	売上総利益	505	34.1%	118.2%	77	1,010	34.2%	112.4%	111
	販管費	440	29.7%	100.1%	0	870	29.4%	101.4%	12
	営業利益	65	4.4%	—	77	140	4.7%	341.7%	99
環境 資源	売上高	6,870	100.0%	131.0%	1,626	13,670	100.0%	115.0%	1,779
	売上総利益	1,614	23.5%	330.9%	1,126	3,525	25.8%	178.6%	1,550
	販管費	1,166	17.0%	153.8%	407	2,140	15.7%	126.9%	453
	営業利益	448	6.5%	—	718	1,385	10.1%	481.3%	1,097
配賦 不能	営業利益	△ 1,189	—	—	△ 98	△ 2,248	—	—	△ 112

2013年3月期 HS事業部門見通し

<HS事業部門見通し>

■既存商品販売

- 前々期、前期は下半期より太陽光発電システム販売に注力したため、下半期における既存商品販売が減少していたが、今期は2Q以降徐々に営業人員を増員し、下半期における既存商品販売の減少を抑制。

■太陽光発電システム販売

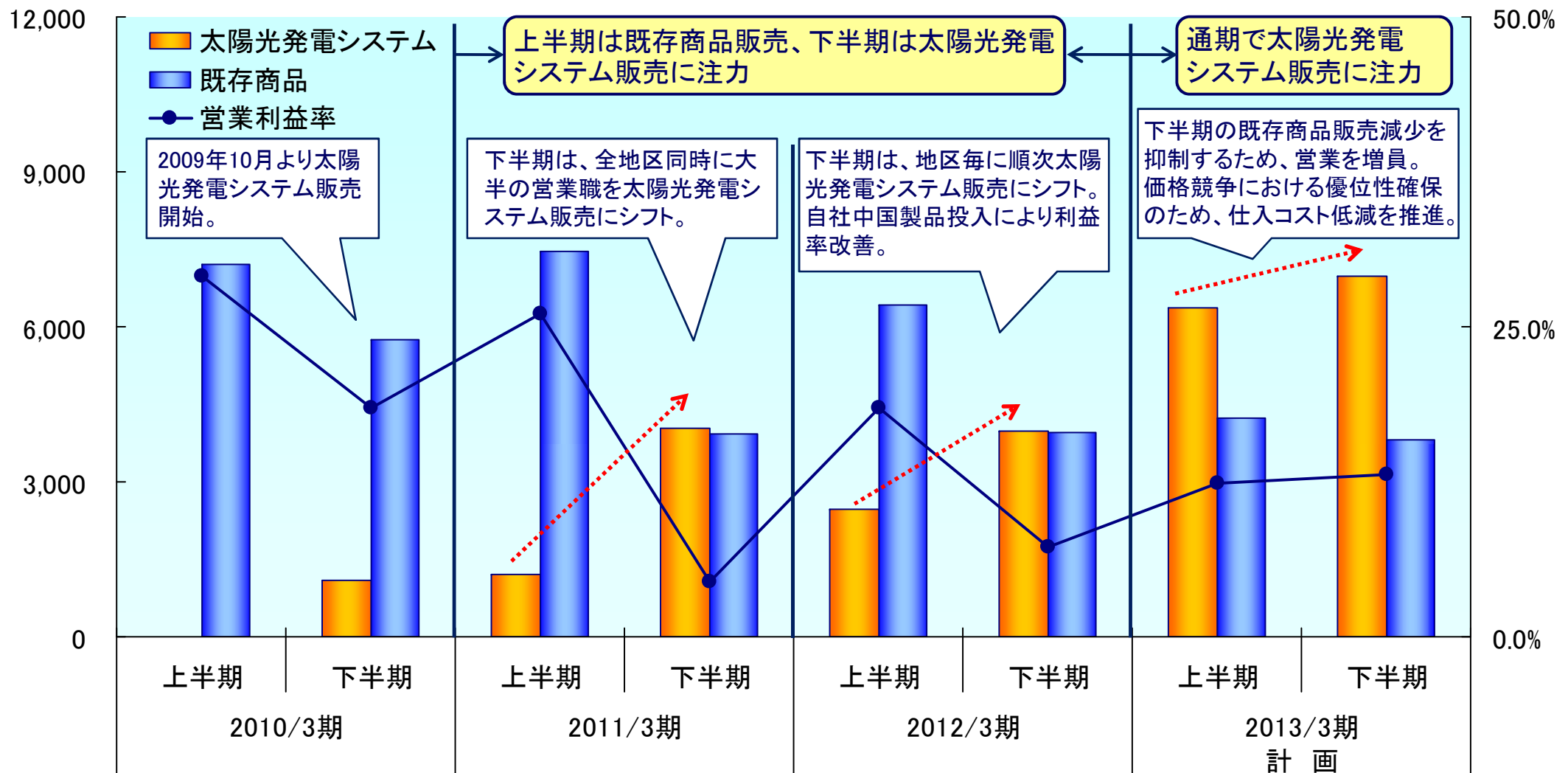
- ユーザー向け直販において、専属営業職一人あたりの生産性も徐々に向上しており、通期で太陽光発電システムの販売を推進。
- 自社製品の販売比率上昇により、利益率は改善。今後の展開に備え、更なる仕入コスト低減に取り組む。

(単位:百万円)	2012/3期 実績	2013/3期 計画	前期比増減	
売上高	16,806	21,375	+4,568	●太陽光発電システム販売の堅調な推移により、前期比増収。
売上総利益	7,568	8,430	+861	
販売管理費	5,352	5,707	+354	●営業職の増員及び広告宣伝等、販売促進のための政策コストを増額。
営業利益	2,216	2,723	+506	●営業利益は2,723百万円を見込む。 (営業利益率12.7%)

2013年3月期 HS事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2013年3月期 ES事業部門見通し

<ES事業部門見通し>

■引き続き法人営業を推進し、新規提携先獲得に注力

- 既存商品販売は、高利益率の「防錆機器取付施工」の販売に注力。
- 集合住宅向けの太陽光発電システムを第2の主力商品と位置付け、既存商品販売と当該商品販売において、各々専属営業職を増員配置し、販売を推進する。

(単位:百万円)	2012/3期 実績	2013/3期 計画	前期比増減	
売上高	2,757	2,955	+197	●太陽光発電システム販売の堅調な推移により、前期比増収。
売上総利益	898	1,010	+111	
販売管理費	857	870	+12	●営業職増員に伴い、人件費が増加。
営業利益	40	140	+99	●営業利益は140百万円を見込む。 (営業利益率4.7%)

2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

<環境資源開発事業部門見通し>

■資源循環型発電事業

- 苦小牧発電所の定期修繕については、5月・8月・11月に分けて実施することによって、突発的な小規模トラブル低減を図り、稼働率を向上させる。
- 廃プラ加工処理については、多賀城工場(宮城県)も復旧し、引き続き搬入量拡大及び燃料品質向上を推進する。

■有機廃液処理事業

- 引き続きコスト削減による損益分岐点引き下げに注力し、利益体質を維持・強化。

(単位:百万円)	2012/3期 実績	2013/3期 計画	前期比増減	
売上高	11,890	13,670	+1,779	●発電所の稼働率向上及び売電単価上昇に加え、廃プラスチック搬入量拡大により増収。
売上総利益	1,974	3,525	+1,550	●苦小牧発電所安定稼働によるコスト削減のほか、削減余地のある原価コストを削減。
販売管理費	1,686	2,140	+453	●搬入拡大による販売手数料の増加。
営業利益	287	1,385	+1,097	●営業利益は1,385百万円を見込む。 (営業利益率10.1%)

2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

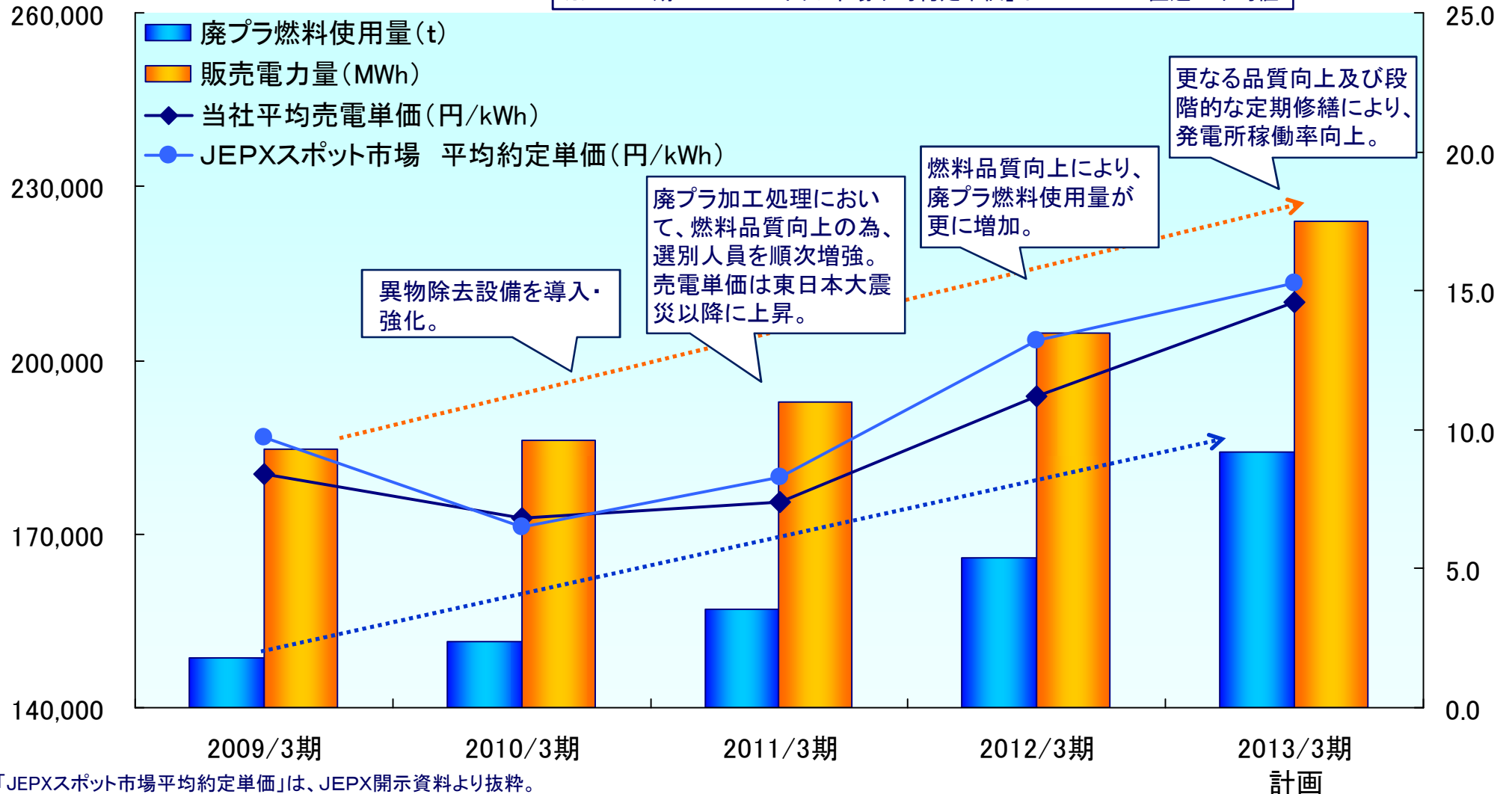
■ 苫小牧発電所(売電収入)の主要数値推移

(単位:t、MWh)

※「JEPX」…一般社団法人 日本卸電力取引所

※2013/3期の「JEPXスポット市場平均約定単価」は2012/4/1～直近の平均値

(単位:円/kWh)

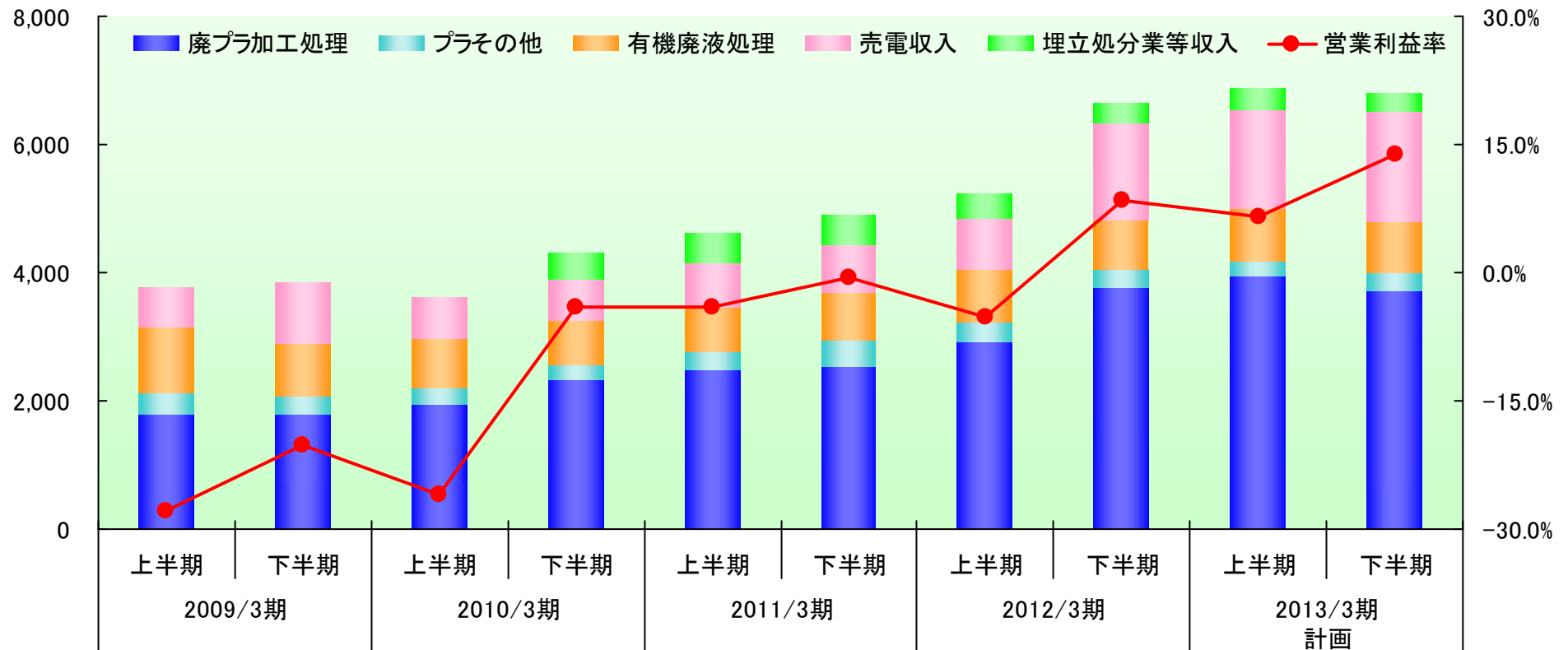


※「JEPXスポット市場平均約定単価」は、JEPX開示資料より抜粋。

2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



苫小牧発電所において、例年1Qにて集中実施していた定期修繕を3Qまで四半期毎に実施することで、稼働率向上を図る。廃プラ加工処理収入は堅調な推移が見込めることから、資源循環型発電事業の収益性は更に改善され、通期黒字拡大を見込む。

公共・産業用太陽光発電システム販売への対応

「再生可能エネルギー特措法」の施行により、
公共・産業用太陽光発電システム市場へ対応するための体制を構築

【再生可能エネルギーの固定価格買取制度】

普及促進のため、現行の住宅用太陽光発電の余剰電力買取制度に加え、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（いわゆる、全量買取制度）」が開始されることにより、大規模な太陽光発電システムのニーズが高まる。

【現状の固定価格買取制度】 ※自家発電設備を併設しない場合

	10kW未満	10kW以上 500kW未満	500kW以上
住宅用	42円/kWh 余剰電力買取	40円/kWh 余剰電力買取	固定価格買取制度での買取対象外
非住宅用			
発電事業用	固定価格買取制度での買取対象外		

【平成24年7月以降の予定】 ※自家発電設備を併設しない場合

	10kW未満	10kW以上 500kW未満	500kW以上
住宅用	42円/kWh 余剰電力買取	42円/kWh(税込) 全量買取	
非住宅用			
発電事業用	42円/kWh(税込) 全量買取		

※いずれも、4/27調達価格等算定委員会より経産相へ提出された価格案

- HS事業部門 —戸建住宅向け太陽光発電システム
- ES事業部門 —集合住宅向け太陽光発電システム

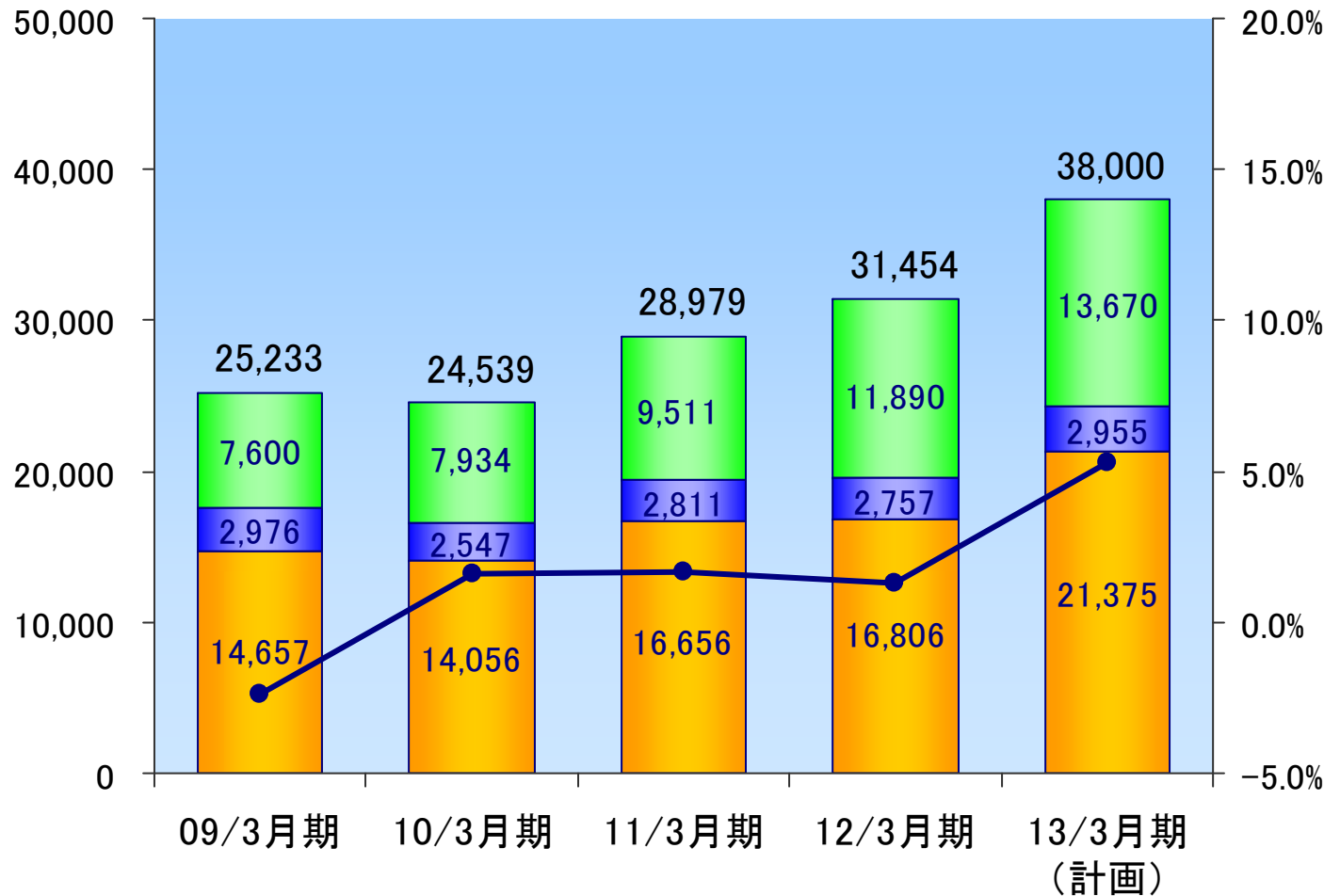
- 株式会社サニックスエンジニアリング（H24.1月設立）
—公共・産業用太陽光発電システム

サニックスグループで全域をカバー可能に！

2013年3月期 全社見通し

■セグメント別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2013年3月期見通し

売上高：38,000百万円

営業利益：2,000百万円

営業利益率：5.3%

